
「在宅療養に向けた家族に対する腸瘻管理支援の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年1月12日から2022年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター・総合周産期母子医療センターNICUに入院し治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

新生児、乳児における腸瘻造設は一時的造設に伴い医療助成の対象に該当せずストーマケア用品、皮膚保護剤など経済的・精神的負担が大きい現状があります。先行研究では家族を含めた早期介入、在宅移行支援は家族に安心感を得ることが示唆されているため看護師は一時退院しご家族の在宅で患児の使用する腸瘻管理を行う患児家族が早期に技術習得できるよう支援する事が重要と考えます。在宅療養へ移行後の不安軽減につながるよう当センターにおいて実際にどの程度ご家族への介入指導を要したのか現状の実態把握を行い、今後の指導方法の確立に繋げていくことを目的といたします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2022年10月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテに記録された患者さんの在胎週数、日齢、体重、腸瘻造設の原因疾患と合併疾患、使用した皮膚保護剤、ご家族が腸瘻管理を習得に要した期間、指導内容（皮膚保護剤の選択、腸瘻合併症時の対応、ご家族からの質問事項等）について項目ごとに集計し調査いたします。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である荒木啓樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：荒木 啓樹

研究指導者：小児外科 教授 井上 成一郎

研究実施者：NICU 看護師 師長 新井 聡美

研究実施者：小児外科 助教 牟田 裕紀

研究実施者：小児外科 助教 竹内 優太

研究指導者：小児外科 教授 小高 明雄

4. 試料・情報の管理責任者

<提供先機関> 【埼玉医科大学総合医療センター】病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○連絡先

住所：〒350-8550 川越市鴨田 1981

電話：042-228-3841（平日 9：00～17：00）

Mail: araki@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：在宅療養に向けた家族に対する腸瘻管理支援の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センターNICU 荒木啓樹